

御樋代木奉迎送 20年に1度の式年遷宮へ

伊勢神宮の社殿を20年に1度建て替える「式年遷宮」に向け、中津川市で切り出された御神木を盛大に出迎える奉曳式などの行事が、6月6～8日に県内各地で行われました。

このうち、7日午後には岐阜市金華橋通りに御神木を乗せたトラックが到着すると、江崎禎英知事や岐阜市御樋代木奉迎送実行委員長の村瀬幸雄岐阜商工会議所会頭をはじめ、奉賛会のメンバーら1000人以上が「エイヤー」の掛け声とともに綱を引き、金神社までのおよそ400メートルの道のりを練り歩きました。その後、金神社では御神木を迎え入れる神事が境内で厳かに執り行われました。

